

ライブラリィ とやま

八尾正治氏の蔵書、県立図書館へ寄贈される ～故人の思いを受け継いで、郷土研究へ活用～

富山県立図書館の外郭団体である富山県郷土史会の会長を長くつとめられ、昨年10月に逝去された故八尾正治氏の蔵書が、このたび御遺族から本館へ寄贈されました。

八尾氏は県職員として社会教育部長、県議会事務局長などを歴任され、特に文化課長として富山県芸術文化協会の設立に関わるなど、芸術文化の振興に大きな足跡を残されました。

その傍ら、郷土史への造詣も深く、富山の社会風俗や芸能に関しては右に出る者がなく、「富山県史」の執筆など、多くの著作を発表されました。

そのため、寄贈された3,880点4,036冊の多くが郷土に関する資料であり、県史や市町村史が網羅されているほか、各分野の基本図書がそろっていて、近年にない充実したコレクションとなっています。



また、芸術文化への関心は富山県内の事象にとどまらず、文学をはじめとする郷土出身

者の著作や、全国各地で開催された展覧会の図録も今回の寄贈に含まれています。

なかでも、昨秋に富山県民会館で開催された「越中文学展」に出品された、三島霜川著『行違い』はその代表と言えるでしょう。



三島霜川は高岡市中田出身の小説家で、明治30年代から昭和初期にかけて活躍し、少年読物と呼ばれる児童文学作品も手がけました。

『行違い』は家僕との密通を理由に婚家の侯爵家を離縁された主人公の数奇な運命をつづった作品で、その冒頭の口絵の状態が出色で、今から約100年前に出版されたもの（明治44年に大阪屋から刊行）とは思えないほどに保存状態が良好です。口絵を描いた鏑木清方は近代日本を代表する日本画家で、明治期には挿絵作家として活躍しました。

なお、これらの図書は今後1年程度をめどに整理し、順次公開していく予定です。

（資料課長 古澤尋三）

読書のよろこびをすべての世代に

～第52回読みなかまのつどいが開催されました～

第52回（平成21年度）読みなかまのつどい富山県大会が10月22日（木）に県立図書館で開催され、県内各地から88名の読書会会員が集いました。

まず、富山県読書会連絡協議会高木会長より開会挨拶があり、続いて（社）読書推進運動協議会より優良読書グループとして表彰されたこすもす読書会（入善町・上田よしゑ代表）へ表彰状が伝達されました。

続いて、高岡法科大学教授であり、富山県芸術文化協会副会長の吉田泉先生より「文学にできること」という演題でご講演いただきました。

学生時代のフランス文学との出会い、海外での通訳としてのエピソード、NHKでの映画字幕翻訳での知られざる苦労から、後半は富山県出身の文芸評論家、佐伯彰一氏と対談された時の貴重な映像も交えながらご講演いただきました。参加者一同、文学や読書の持つ力、というものを再認識する良い機会となりました。



講演される吉田先生

午後は5つの分科会に分けられました。第1～第4分科会は合同読書会で「劔岳 点の記」「秘花」「ひとり日和」「死顔」の4作品について活発な意見交換が行われました。

第5分科会は、子どもの読書支援に関する分科会として、「子どもと本の講座」と共催となりました。（詳しくは次頁で紹介します。）

企画展示のご紹介

■ 越中文学の情景展

北日本新聞連載「越中文学の情景」連動企画として、富山県にゆかりの文学作品・作家にスポットを当てた企画展示を行いました。

第1回は「劔岳 点の記」と題し、7月28日（火）～8月16日（日）にかけて展示を行いました。新田次郎の山岳小説「劔岳 点の記」を中心に劔岳関連資料をはじめ、作中に登場する測量官柴崎芳太郎の記事や実際の「点の記」なども展示しました。映画公開中ということもあり多くの方にご覧いただきました。



↑「劔岳 点の記」



←「源氏鶏太の作品世界」

第2回は「源氏鶏太の作品世界」と題し、10月6日（火）～25日（日）まで開催しました。富山市出身の直木賞作家・源氏鶏太の代表作や、その人となりがわかる評伝・記事なども展示しました。

■ 展示「お父さんの絵本」

読書週間にちなみ、10月27日（火）～11月8日（日）の間、当館閲覧室・コレクションルームにて展示「お父さんの絵本」を開催しました。「おばけのバーバパパ」や「ぼくのおとうさんははげだぞ」など、当館で所蔵する絵本や児童書のなかから、お父さんを題材にした約100冊を展示しました。期間中、来館された方々に興味深く見ていただきました。



子どもと本の講座が開催されました

去る9月10日（木）と10月22日（木）の2回にわたり「子どもと本の講座」を開催しました。ボランティアの方や図書館員等を中心に、第1回は144人、第2回は115人が参加されました。

第1回は青山学院女子短期大学講師の中村 柊子先生をお迎えし、「子どもと楽しむ絵本の世界」と題してご講演いただきました。幼稚園・保育園でのご勤務経験などを基に、子どもと本との出会いの重要性について、絵本の紹介を交えて解説していただきました。また、様々なジャンルの絵本選びのコツなども

わかりやすくご指導いただきました。

第2回は読みなかまのつどい第5分科会として開催されました。富山おはなし



の会代表であり、富山市内で「子ども文庫やかまし村」を主宰しておられる呉羽まゆみ先生に、「子どもと本との豊かな出会い」と題してご講演いただきました。赤ちゃんから中学生、高校生の読書まで幅広い年代それぞれに応じた読書経験や、何度も読み返す「その人の1冊」にめぐり会うことの大切さについてお話しいただきました。また、現在の子



子どもと本を取り巻く現状を鑑み、子どもと本に関わるすべての大人が協力して子どもの読書を積極的に支えてゆくことの必要性についても熱く語っていただきました。

日頃から子どもと本に携わる参加者にとって、大変勉強になり、また励みともなる講演となりました。

お気軽に

おたずねください

レファレンス事例集

Q 明治期に、上市、五百石、舟見等の地域において、「揮水鉛」と何か関係があったか。当時の文献中に記載されており、その意味が知りたい。

A まず、“揮水鉛”をキーワードに郷土資料を調査しましたが、該当なしでした。次に、鉍石図鑑、鉍物図鑑を調べたところ、「揮水鉛鉍Molybdenite」（多くの場合は、輝水鉛鉍と表記）は、モリブデンの主要な鉍石ということが分かりました。

モリブデンについての郷土資料には、下記のものがありました。それらによると、明治後期に劔岳北東の池ノ平山付近で輝水鉛鉍山が発見され、大正4年に小黑部鉍山として本格的な操業を開始しました。大正6～7年には日本最大の産出量を誇りましたが、大正7年に、事故や第一次世界大戦終結による需要

減のため、採掘が中止されました。その後、第二次世界大戦、朝鮮戦争の時期には再び操業していました。

また、僧ヶ岳山頂付近にもモリブデンの鉍脈があり、昭和17年から約3年間、採掘されていました。

参考文献

- 『富山大百科事典,下』（北日本新聞社刊,1994）
「特集立山連峰」p142,161
- 『とやま近代化ものがたり』（富山近代史研究会編,北日本新聞社刊、1996）p50-51「劔岳モリブデン鉍」の項
- 『黒部奥山と扇状地の歴史』（奥田淳爾著刊,2000）p198-208「黒部奥山のモリブデン鉍」
- 『地下資源調査報告書 昭和25年度』（富山県刊,1951）p13-16及び付図「小黑部モリブデン鉍山調査報文」
- 『宇奈月町史』（宇奈月町刊,1969）p61-64

ふるさとの歴史と文学入門講座

富山県郷土史会と富山県の共催で、郷土の歴史と文学を学ぶ講座が富山県民会館で開かれました。

第1回 平成21年8月24日(月)

演題:「越中万葉と大伴家持」

講師:高岡市万葉歴史館館長

小野 寛 氏

越中国守に赴任した大伴家持は、全作歌のうち実に半数近くをこの富山で詠み、「万葉集」にも残しました。越中万葉の代表作が時代背景と共に紹介され、参加者一同、遥か天平時代の古代越中の姿に思いを馳せました。(参加者88名)



第2回 平成21年11月11日(水)

演題:「俳諧一枚摺にみる庶民の暮らし」

講師:富山短期大学教授

大西 紀夫 氏

一枚の紙に俳句と絵を刷り込み、季節の折々にふれて俳諧を嗜む同士に配られた「俳諧一枚摺」は県内でも幕末ごろから盛んに作られるようになり、当時の俳人の交流を今に伝える貴重な史料となっています。地域性豊かな俳諧文化について、画像や貴重な実物資料を交えながら詳しくお話いただきました。(参加者38名)

新着読書会テキスト

1タイトルを10冊セットで貸出します。
グループでの読書会にご利用ください。

- ・太田 治子 著「明るい方へ」(朝日新聞出版)
- ・宮尾登美子 著「生きてゆく力」(海竜社)
- ・三浦しをん 著「神去なあなあ日常」(徳間書店)
- ・北村 薫 著「鷲と雪」(文芸春秋) ~直木賞受賞~
- ・宇江佐真理 著「寂しい写楽」(小学館)
- ・橋本 治 著「巡礼」(新潮社)
- ・磯崎憲一郎 著「終の住処」(新潮社) ~芥川賞受賞~
- ・蓮池 薫 著「半島へ、ふたたび」(新潮社)
- ・諸田 玲子 著「美女いくさ」(中央公論新社)
- ・重松 清 著「星をつくった男」(講談社)
- ・柳月美智子 著「るり姉」(双葉社)

図書館カレンダー

2009-2010 の日が休館日になります。

日	月	火	水	木	金	土
12		1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11
月	13	14	15	16	17	18
	20	21	22	23	24	25
	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
1					1	2
	3	4	5	6	7	8
月	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29
	31					

日	月	火	水	木	金	土
2		1	2	3	4	5
	7	8	9	10	11	12
月	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26
	28					

日	月	火	水	木	金	土
3		1	2	3	4	5
	7	8	9	10	11	12
月	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26
	28	29	30	31		

休館日

毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

館内整理日

毎月第4木曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始(12月28日~1月4日)

蔵書点検及びシステム点検更新期間
(11月25日~12月15日)

開館時間

火~金曜日(但し休館日を除く)午前9時~午後7時
土日・祝日(但し休館日を除く)午前9時~午後5時

貸出

1人10冊まで、15日間

*資料のお問い合わせは

県立図書館 調査課へ

TEL (076) 436-6812

URL <http://www.lib.pref.toyama.jp/>

iモード版ホームページ

<http://lib1.lib.pref.toyama.jp/public/i/>

編刊・富山県立図書館

平成21年12月15日

TEL

(076) 436-0178

FAX

(076) 436-1891

〒930-0115

富山市茶屋町206-3